

●ハウス・オブ・ホープ●人の思いと主の思い

十月中旬まで残暑が続いていた大阪も、紅葉を待つ季節となりました。いかがお過ごしでいらっしゃいますか？

私は途中、軽い風邪を引いてしまいましたが、10月のすべてのコンサートを主の導きのうちに終えることができました。皆様のお祈りに、心から感謝いたします！

また、これまで、多くの方々から、応援や励まし、祈りのメールをいただきました。コンサートとその準備で忙しい中、なかなかお返事が書けないことをどうぞお許してください。でも、感謝をもって一通一通読ませていただいています。この場をお借りして、心よりお礼申し上げます。



(写真:10月21日、横浜、篠原教会「70周年記念コンサート」)

●ハウス・オブ・ホープ

皆様に特にお祈りいただきました10月25日のチャリティー・コンサートは、8月～9月のブラジル公演に伴い、実はチケットの販売スタートが、例年より一ヶ月遅れてしまいました。そのため、例年ならば、コンサート一週間前にはだいたいのチケット販売数が把握できたのが、今回はコンサートが始まるまで来場者の数を把握することができませんでした。しかし、主はたくさんの方々を北浜スクエアに集めてくださり、会場はほぼ満席になりました。



今回のコンサートで支援させていただく「ハウス・オブ・ホープ」は、1963年、全盲のアラブ人クリスチャン、メイ・ラダー女史によって設立された心身障がい者のための施設です。現在は3代目のローダ・デーヴィッド女史が総責任を担っておられます。「ハウス・オブ・ホープ」の目的は、目の不自由な者、身体障がい者、精神障がい者へのケアを通して、『イエス・キリストの良き知らせ』

を伝え、実践してゆくことです。詳しいことをお知りになりたい方は、是非次の HP をご覧ください。<http://www.houseofhopemd.org/>

政治的混迷が続くイスラエル社会では、ユダヤ人でもなく、イスラム教パレスチナ人でもないアラブ人クリスチャンはなかなか顧みられない存在です。そのような中で、キリストの福音を伝え実践するために、弱い人々を助けている「ハウス・オブ・ホープ」に、2年前に引き続き、AKMM は今年も経済的支援をさせていただくことにいたしました。コンサートは終わりましたが、まだ献金を希望される方がいらっしゃいましたら、今月末まで、「ハウス・オブ・ホープ献金」と書いて、次の口座にお振り込みください。郵便振替口座:00980-5-62444 『工藤篤子音楽ミニストリーズ』

(写真:「ハウス・オブ・ホープ」の子供たち)

また、「ハウス・オブ・ホープ」では、以下の祈禱課題を発信しています。どうぞお祈りください。

1. 新学期に備えて教師も生徒も良き備えができるように。
2. 主イエス様に会う人が起こされるように。
3. 新しくやってくるボランティアのために。
4. 紛争の続くこの地に平和的解決が与えられるように。
5. 神が私たちと共にいてくださり、愛と励ましを与えてくださるように。

●人の思いと主の思い ～『私を平和の道具としてください』～

これまで7年間、AKMMを通して、賛美伝道を続けてまいりました。その中で、最近、特に思わされているひとつのことがあります。

それは、人の思いと主の思いはほんとうに違うものだということです。



例えば、あるコンサートでは、歌いながら気が散ってしまうことが頻繁に起こりました。歌っている最中にあちこちでカメラのフラッシュが光って、その度に驚いたり、目線の先がガラス貼りの母子室だったため、そこにいる赤ちゃんとお母さんたちの姿が気になったり(普段ならそこに十字架を思うのですが・・・)、また、曲の途中で入り方を間違えてしまったために、ピアニストと数小節完全にズレてしまったり……

そのため、普段なら一言一句たりとも心から離れることなく心から歌うことが出来るのですが、そのコンサートでは、それが出来ない箇所が多々あったのです。その分、曲間のスピーチでカバーしようとして、逆に話しがくどくなってしまったよう

たのです。その分、曲間のスピーチでカバーしようとして、逆に話しがくどくなってしまったよう

な気がしました。そのたびに、「主よ、私の心配をすべてお委ねします。導いてください。」と祈りました。しかしながら葛藤の連続でした。そして全プログラムが終了した瞬間、「ああ、今日のコンサートはダメだった。」と落胆しました。

ところが、です。終わってから、「誘われていやいやコンサートに来たが、キリスト教って捨てたもんじゃないですね」、「今までさまよえる小羊だったけれど、今日、ついにキリストのもとに帰ることが出来ました」、「迫られるものがありました。来週から教会に通います」・・・と何人もの方が言いに来られるではありませんか！おまけにこの日は、5年前のコンサートで救いに導かれた方が来てくださり、その後も主との歩みの中で平安を得ていると知らせてくれたのでした。

8月のブラジル・ツアーでも、私も主催者も今ひとつだったと思ったコンサートで、同じようなことがありました。次の町のコンサートでは、「前の町のコンサートで、回心した人がいたと聞いた。コンサートで人が回心するなんて・・・一体どんなものなのか聞きに来た」とおっしゃる方があったのです。逆に、自他共に最高の出来だったと思ったコンサートでは、回心者のあったことを未だに聞きません。

このように、主のみ業は、人の思いをはるかに越えたところでなされるものであることを、最近深く思わされるようになりました。今年のコンサートの最後に歌わせていただいている『私を平和の道具としてください』の通り、私はあくまでも主の御手の中の道具にすぎないことを、今思われています。この道具を、主がいつも思いのままに用いてくださることが出来るよう、人間的な評価や人の評判で判断する前に、face to face、主の御顔を見上げつつ、日々全身全霊を主に差し出させていただく者でありたいと、心から祈り願っています。

(写真:『私を平和の道具としてください』10月28日、近江八幡、八幡福音教会コンサートにて)

●『**賛美のころ**』の書評が、10月28日付のクリスチャン新聞に掲載されました。同じ記事が、書評を書いてくださった青木勝さんの主宰するDNJ(Diaspora Network for Japanese)のホームページにも掲載されています。

http://www.dnjonline.org/jp/component/option,com_joomlaboard/func,view/id,213/catid,15/

ちなみに、DNJは、帰国者や内外邦人宣教フォローアップを縦横連携で促進するインターネット・ポータルサイトベースの超教派ネットワーク (www.dnjonline.org)です。こちらのHPも是非ご覧下さい。

●11月のコンサートのためにお祈りください

11月 4日(日) 大阪のぞみ教会 チャペル・コンサート 14:00~15:30 連絡先:教会
06-6850-3123

11月11日(日) 広畑キリスト教会 オータム・コンサート 市営ホール 14:00~
連絡先:Fax 教会 0792-39-3952

11月15日(木) インターナショナル VIP クラブ学園前テイクオフ記念コンサート 19:30~21:00
奈良学園前ホール、連絡先:菰渕さん 090-9711-0991

11月18日(日) 岸和田聖書教会 秋のチャペル・コンサート 15:00~17:00
連絡先:教会 072-422-1961

11月25日(日) 所沢福音キリスト教会 白いチャペルのコンサート 14:00~15:30
連絡先:教会 04-2949-8314

それでは、2週間後に、メルマガをお送りさせていただきます。
皆様の健康と祝福を、心からお祈りしています。

工藤篤子